

NEWS LETTER

公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会

令和元8月31日発行

発行／日本小児歯科学会九州地方会事務局(2018～2019年度)

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野

TEL: (092) 801-0411 (内線656) FAX: (092) 801-0692 (医局直通)

日本小児歯科学会九州地方会会長挨拶



公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会

会長 尾崎 正雄

謹啓 九州地方会の皆様におかれましては、お元気で
お変わりなくお過ごしでしょうか？

さて私も平成30年に地方会会長に就任して早くも
最終年度を迎えました。地方会を運営できましたの
も、ひとえに皆様方のおかげと思っています。現在、
日本小児歯科学会は公益法人化され、九州地方会も
色々な面で改革を迫られています。地方会の会計も本
会である日本小児歯科学会の収支に含まれますので、
公開セミナーや勉強会で地方会に援助を依頼する場
合、予算案の中に組み込む必要があります。次年度に
勉強会を計画している先生は、ぜひ本年度12月まで
に内容と必要経費を事務局までお知らせください。

来年、第58回日本小児歯科学会大会を福岡歯科大
学成育小児歯科学分野が主管で、2020年5月21日
(木)、22日(金)に沖縄県宜野湾市の沖縄コンベン
ションセンターにて開催することになりました。近年、
子ども達の口腔内状況が二極化していることが小
児歯科関係者で問題視されています。これは子ども達
にとって心身共に重大な警告であると考えられます。

特に本学会の開催地である沖縄県は、全国と比較し
て小児の齲蝕罹患率が最も高く、多くの子ども達が齲
蝕に苦しめられています。この背景には、貧困家庭、
母親の就労、片親、ネグレクトなど数々の問題が隠さ
れています。また、沖縄県には2名しか専門医がいま

せん。そこで、「生きる力、未来の子ども達へ」を大会
テーマに、最近忘れがちな齲蝕予防に焦点を当て、全
米の齲蝕予防の基礎となっている小児CAMBRAの発
案者の一人であるカリフォルニア大学歯学部小児歯
科学講座のFrancisco Ramos-Gomez教授に齲蝕予
防の最前線についてお聞きいたします。また、国際シ
ンポジウムでは日本、韓国の齲蝕分野の第一人者より
齲蝕本質とその予防についてお話して頂こうと計画
しています。その他にも、広島大学の長沼毅教授によ
る公開講座など多数の講演会を準備しておりますの
で、ぜひご参加ください。

人はそれぞれ目指す道が違って、前向きに進まな
ければ何も状況は変わらないということを念頭に、会
員の皆様が自分の目指す道に向かって力を惜しまず
に進んでいければと思っています。私も、九州地方会
がさらに前進するよう惜しみなく力を発揮する所存
ですので、会員の皆様からのご指導ご鞭撻を賜りま
すよう、お願い申し上げます。また、皆様方のご健康と
ご活躍を心から祈念しております。

謹 白

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
小児歯科学分野 教授 山崎 要一

昨年度に引き続き、日本小児歯科学会九州地方会尾崎会長の下で、副会長を担当致します鹿児島大学の山崎です。微力ではありますが九州地方会の発展に貢献できるよう努力致します。

さて、昨年12月8日の参議院本会議で成育基本法が可決成立致しました。この新法は成育過程にある小児と、妊産婦を含む保護者を対象として、必要とされる医療を切れ目なく総合的に供給するための基本法です。原文中には、関連医療者として歯科医師が含まれておりますが、当初の法案には歯科医師は入っておりませんでした。この状況を日本小児歯科学会会員が察知し、当時の理事長と執行部の先生方による日本医師会や歯科関連の国会議員への数多くの働きかけを通して実現したのです。小児歯科医による行政への活動範囲が拡大できる良い機会であり、今後の各自治体における成育関係の審議会の中で、小児歯科専門医の先生方が積極的に参画されることを期待しております。

また、昨年導入された「口腔機能発達不全症」は、日

本歯科医学会 重点研究委員会の5年間の活動を通して達成された成果です。委員会メンバーには小児歯科学会の理事長経験者が複数入っており、小児歯科医の目を通した口腔機能の管理育成を主眼として制度設計された保険項目です。これまで小児の口腔機能に関しては明確な基準がなく、検査方法も確立していなかったことから、専門性の高い小児歯科医以外では、子ども達の抱える問題への対応が難しい状況でした。

今後、小児の継続的な口腔管理を担当するすべての歯科医師が、口腔機能発達不全症児を広く診断し、機能育成に取り組むためには、基準設定や検査方法の確立を目指す本学会からの情報発信がたいへん重要となります。これまでも様々な研究発表を通して多くの成果を残して来られた九州地方会の会員の皆様を中心となり、我が国の小児歯科医療に貢献されることを祈念しております。

九州地方会への皆様のご支援をよろしくお願い致します。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



そらだ小児歯科医院
院長 空田 安博

はじめに、6月山形県沖地震並びに7月南九州豪雨の災害により大変な被害を受けた皆様方に、心よりお見舞い申し上げますとともに皆様方の生活が一日も早く復旧されますように願います。

いよいよ「令和」の時代の幕開けとなりました。元号という文化は中国で発祥したのですが、現在この伝統を守り続けているのは日本だけそうです。九州地方会副会長を拝命して2年目を迎えました。日本小児歯科学会も公益法人化に伴い九州地方会の尾崎執行部もその対応に向けて着々と準備を進めています。

さて、九州地方会は1983年に設立され、今年で37年目を迎えようとしています。現在では学会員皆様方

のご努力により600名に迫りつつあります。また大会内容も会員の先生方のご尽力によって益々充実してきております。私事ではありますが令和初めての第37回日本小児歯科学会九州地方会大会会長を務めさせていただくこととなり大変名誉なことと思っております。大会のメインテーマは、「生涯にわたるより良い摂食・嚥下機能獲得を目指して」で、昨年4月に医療保険導入された小児の口腔機能発達不全症にも関連したテーマにさせていただきました。各地方会の中で最後の開催になる11月10日ではありますが会員皆様方の奮ってご参加の程よろしくお願い致します。

第36回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催報告

日 時:平成30年10月21日(日)

場 所:福岡県歯科医師会館(福岡市)

第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を、『他職種連携における小児歯科の役割』をテーマとして開催した。今回は、福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野が担当した(大会長:尾崎正雄、準備委員長:岡 暁子准教授)。本大会には、九州地区で活躍する小児歯科医を中心にコ・メディカルスタッフを含め約400名の方々に参加して頂き、一般演題33題、専門医更新発表4題、認定衛生士試験1題、そして、台風の影響で中止となった近畿地方会から一般演題1題、合計39題の発表が行われ、盛会裏に終了した。

本大会は、少子高齢化と口腔医学の観点から、小児歯科だけでなく、他の診療科といかに向き合うかをテーマに講演を構成した。教育講演では、大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部 言語聴覚士主任の杉山千尋先生より、「言葉が気になる子どもへの対応 歯科医師と言語聴覚士の連携」と題する講演をして頂き、言語障害を持つ小児に対する治療の実践について学ぶことができ、現在注目されている小児口腔機能不全に対する治療のヒントを頂いた。特別講演では、九州大学大学院医学研究院臨床医学部門 生殖発達医学講座 小児外科学分野教授の田口智章先生より、「小児医療センターにおける小児歯科と多職種連携および乳歯歯髄幹細胞の魅力」と題する講演をして頂いた。小児歯科との連携と乳歯歯髄幹細胞についての講演であったが、特に、乳歯歯髄幹細胞が小児の難病治療に向けて研究されていることに感銘を受けた。

記念講演では、本年度で退官される九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野 野中和明教授より「小児歯科・スペシャルニーズ歯科での私達の臨床・トランスレーショナル研究」と題する講演をして頂いた。野中先生が考えてこられた臨床、教育および研究に対するポリシーや、小児科・小児外科との良好な連携治療についてお話しいただいた。シンポジウムでは、「専門領域の立場から考える埋伏歯治療」をテーマに、3名のシンポジストに講演を頂いた。福岡歯科大学成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野 岡 暁子准教授が「臼歯萌出障害の原因を診断する」、福岡歯科大学成長発達歯学講座 矯正歯科学分野 玉置幸雄教授が「埋伏犬歯の3次元診断と牽引方向」、イシタニ小児・矯正歯科クリニック 石谷徳人院長より「萌出障害に取り組むための視点と注意点-基本的なマネジメントから牽引装置の理解まで-」と題し、それぞれの立場から行う萌出障害治療のポイントについてお話し頂いた。また、歯科衛生士セミナーでは、銀座コーチングスクール福岡校 江口正勝代表より、「患者さんのパフォーマンスを起すコミュニケーション-コーチングの応用-」と題する講演をして頂き、コーチングの基礎と患者さんとの良好なコミュニケーションの構築についてアドバイスを頂いた。本大会の開催にあたり、多くの先生方および関係者各位にご協力いただきましたことに、この場をお借りして厚く御礼申しあげて、本報告を終わりにしたいと思います。

(第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会 大会長 尾崎 正雄)



第36回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

日時：平成30年10月21日午前8時55分～9時15分

場所：福岡県歯科医師会館（福岡市中央区大名1-12-43）

1. 開会の辞：司会の馬場庶務幹事より開会の辞が述べられた
2. 会長挨拶：日本小児歯科学会九州地方会会長および第36回日本小児歯科学会九州地方会大会長の尾崎会長より挨拶が述べられた
3. 公益社団法人日本小児歯科学会理事長挨拶：公益社団法人日本小児歯科学会木本理事長より挨拶が述べられた
4. 議長選出：有田信一先生が議長に選出された
5. 議事
 - 1) 平成30・31年度役員承認について
尾崎会長より平成30・31年度日本小児歯科学会九州地方会役員名が説明され賛承認された
 - 2) 平成29年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告
奥監事より平成29年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算が説明された
 - 3) 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計決算報告
舩元佐賀県代表幹事より第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計決算が説明された
 - 4) 2) および3) について監査報告
久芳県代表幹事（前監事）より2) および3) について監査報告が行われ承認された
 - 5) 平成30年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について
橋本会計幹事より平成30年度日本小児歯科学会九州地方会予算案が説明され承認された
 - 6) 第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地について
尾崎会長より順番でいくと九州大学が担当となるが九州大学の野中教授退官となられるので鹿児島大学にお願いしたい旨を説明された
 6. その他
 - 1) 第37回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について
空田副会長より第37回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について説明された
 - 2) ニュースレター発行について
石井広報幹事より平成30年度ニュースレターの発刊・発送について説明された
 7. 閉会の辞
馬場庶務幹事より閉会の辞が述べられた

第37回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催のご案内

この度、第37回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会を下記の通り開催させていただき運びとなりました。多数の会員の皆様方にご参加いただけますようご案内申し上げます。（大会長：空田 安博）

大会テーマ：「生涯にわたるより良い摂食・嚥下機能獲得を目指して」

1. 開催日時：令和元年11月10日（日）
8：30～17：00

2. 会場：北九州国際会議場

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

3. 大会内容：

1) 特別講演

「乳幼児の口腔機能の発達と不全」

弘中 祥司先生

（昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門教授）

2) 特別講演

「埋伏歯に対する矯正歯科のアプローチ」

川元 龍夫先生

(九州歯科大学 顎口腔機能矯正学分野 教授)

3) 教育講演

「小児の閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) と接触・
嚥下機能」

杉山 剛先生

(社会医療法人杏嶺会 一宮西病院 小児科部長)

4) 歯科衛生士セミナー

「生まれる前からの口腔機能の育て方」

土岐 志麻先生

(全国小児歯科開業医会 会長)

5) シンポジウム

「生涯にわたるより良い摂食・嚥下機能獲得を
目指して」

「臨床現場での口腔機能成育の意義と課題」

清水清恵先生

(清水歯科クリニック)

「高齢者における摂食嚥下障害への対応」

藤井 航先生

(九州歯科大学歯学部口腔保健学科地域・多職種
連携教育ユニット教授)

「地域連携による小児歯科からの摂食嚥下リハビ
リテーション」

佐藤 秀夫先生

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学

分野 講師)

6) ランチョンセミナー

「(内容未定)」

株式会社 松風

7) ポスター展示

(1) ポスター発表

一般演題発表・認定歯科衛生士資格申請発表

(2) 資格更新用ケースプレゼンテーション

専門医・認定医・認定歯科衛生士資格更新用
プレゼンテーション

8) 商業展示

4. 懇親会：

日 時：令和元年 11 月 9 日 (土)

18：30～

場 所：ホテルクラウンパレス小倉

会 費：歯科医師 5,000 円

歯科衛生士・その他 2,000 円

懇親会 5,000 円

問い合わせ：大会事務局

九州歯科大学口腔機能発達学分野内

〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1

Tel 093-582-1131 (代表)

Fax 093-583-5383 (直通)

Email：37kyushu@gmail.com

第38回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会案内

第38回日本小児歯科学会九州地方会大会は、山崎要一大会長のもと鹿児島大学が担当します。皆様のご協力とご参加をよろしくお願いいたします。

大会テーマ「こどもを取り巻く連携医療の重要性 ～小児歯科ができること～」

大会長：山崎 要一 準備委員長：稲田 絵美

月 日：令和2年10月4日 (日)

場 所：鹿児島県民交流センター

役員会：10月3日 (土) 16時30分から (場所：県民交流センター)

懇親会：10月3日 (土) 役員会終了後開催予定

事務局：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野

平成30年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告

| | |
|--------------------|------------|
| 《収入》 | 単位:円 |
| 寄付金(口座開設費) | ¥10 |
| 前年度繰越金 | ¥790,487 |
| 日本小児歯科学会より入金 | ¥800,500 |
| 第36回小児歯科学会九州地方会余剰金 | ¥170,560 |
| 利息 | ¥6 |
| 合計 | ¥1,761,563 |

| | |
|------------------------|------------|
| 《支出》 | |
| 第36回日本小児歯科学会九州地方会大会援助金 | ¥500,000 |
| ニュースレター印刷費・郵送費 | ¥66,420 |
| 学術振興費(ポスター賞 2名) | ¥60,000 |
| ホームページ管理・更新費 | ¥190,620 |
| 会議費 | ¥55,423 |
| 雑費(振込手数料) | ¥4,050 |
| 日本小児歯科学会本部への寄付金 | ¥885,050 |
| 合計 | ¥1,761,563 |

平成31年4月27日

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 奥 猛志 岡 暁子

第36回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会収支報告

| | | |
|--------------------|-------------------|------------|
| 《収入》 | | |
| 寄付金(口座開設費) | | ¥5 |
| 日本小児歯科学会九州地方会より援助金 | | ¥500,000 |
| 大会参加費 | 歯科医師 5,000円 ×287名 | ¥1,435,000 |
| | コデンタル2,000円 ×116名 | ¥232,000 |
| | 3,000円 ×4名 | ¥12,000 |
| 認定審査料 | 500円 ×29冊 | ¥14,500 |
| 抄録集販売 | 50,000円 ×1社 | ¥50,000 |
| 企業広告 | 30,000円 ×3社 | ¥90,000 |
| 企業展示 | 30,000円 ×8社 | ¥240,000 |
| 懇親会費 | 5,000円 ×54名 | ¥270,000 |
| その他(援助金) | | ¥115,000 |
| 利息 | | ¥1 |
| 合計 | | ¥2,958,506 |

| | |
|------------|------------|
| 《支出》 | |
| 印刷費 | ¥348,883 |
| 通信費 | ¥194,677 |
| 設営費 | ¥475,848 |
| 会場費 | ¥182,473 |
| 大会運営費 | ¥416,921 |
| 謝礼および交通費 | ¥488,360 |
| 懇親会費 | ¥534,632 |
| 事務用品費 | ¥142,696 |
| 雑費(振込手数料) | ¥3,456 |
| 余剰金として地方会へ | ¥170,560 |
| 合計 | ¥2,958,506 |

平成31年4月27日

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 奥 猛志 岡 暁子

宮崎小児歯科医会 第3回オープンセミナー報告

宮崎小児歯科医会(旧 宮崎小児歯科臨床懇話会)主催の第3回オープンセミナーが開催されましたので、ご報告致します。

日 時 平成31年4月7日(日)9:00～13:00
場 所 宮崎県歯科医師会館4階ホール
出席者 107名(歯科医師46名;その他61名)
メインテーマ みつけて!子どものサイン!

[教育講演①]

演 題 『発音が気になる子どもへの対応』
講 師 宮崎市総合発達支援センター 言語聴覚士 原澤 奏子 先生

[教育講演②]

演 題 『永久歯の萌出期に起こりやすい異常を見逃さないで!』
講 師 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野 教授 山崎 要一 先生

[シンポジウム] テーマ 『辛さを抱えた子どもたち』

1. **演 題** 「育ちの中で影響を受ける子どもたち」
講 師 特定非営利活動法人子ども虐待防止みやざきの会 会長 甲斐 英幸 先生
2. **演 題** 「子ども食堂の役割とこれから」
講 師 株式会社ナチュラルビー 代表取締役 長友 宮子 先生
3. **演 題** 「子どもシェルターの役割について～ハイティーン支援の重要性」
講 師 NPO法人子どもシェルターみやざき ふらっぷ 理事 弁護士 金丸 祥子 先生
4. **演 題** 「小児歯科医療の中でのかわり」
講 師 わかば小児歯科 院長 旭爪 伸二 先生
5. **ディスカッション**

本セミナーは、2年ごとの開催と企画しておりましたが、一昨年に日本小児歯科学会九州地方会が宮崎で開催されたため、約5年ぶりの開催となりました。3回目となります今回も本県のみならず他県からも歯科医師、歯科衛生士、保健師等、小児に携わる多くの職種の方にご参加いただきました。

前半の教育講演では「みつけて!子どものサイン」をメインテーマに2名の先生に実際の臨床に役立つテーマでご講演いただきました。非常に分かりやすく、また、具体的な内容で、大変勉強になりました。後半のシンポジウムでは小児歯科臨床の重要課題の1つとして虐待を取り上げ、「辛さを抱えた子どもたち」をテーマに、本県で虐待防止に鋭意ご活躍中の4名の先生方にご講演いただきました。また、講演後にディスカッションが行われ、聴講者からの活発な意見もあり、終了予定時間を超過してしまいましたが、最後に山崎要一教授よりコメントいただき、盛会のうちに閉会いたしました。

小児歯科研修の機会が増えつつある本県ですが、まだ十分と言えない中でこのような講演をいただいたことは大変貴重な機会だったのではないかと思います。

最後に、今回のセミナー開催にご協力いただきました山崎要一教授、日本小児歯科学会九州地方会、宮崎県歯科医師会、宮崎市郡歯科医師会、宮崎県歯科衛生士会の方々に心から感謝申し上げます。

(キッズデンタルクリニック 押領司 謙)



平成30年度第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成30年4月1日（日）

11時～13時10分

開催場所：福岡歯科大学口腔医療センター 会議室

出席者：尾崎 正雄、山崎 要一、空田 安博、
野中 和明、藤原 卓、牧 憲司、
小笠原貴子、釜崎 陽子、稲田 絵美、
馬場 篤子、久芳 陽一、久保山博子、
舩元 康浩、高風亜由美、森 奈千子、
木船 敏郎、井上浩一郎、宮川 尚之、
竹島 勇、橋本 敏昭、石谷 徳人、
奥 猛志、岡 暁子、田村 翔悟、
石井 香

欠席者：西田 郁子 敬称略

進行：馬場庶務幹事が行った。

1. 開会の辞：空田副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶：尾崎会長が会長挨拶を述べられた。

3. 報告事項：

1) 尾崎会長が資料1をもとに平成30、31年度の公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員を紹介を行った。

2) 尾崎会長が資料2をもとに日本小児歯科学会九州地方会会則の変更点として、本会事務局を福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野内におくことが報告された。

3) 岡監事が資料3をもとに第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告を行った。また、第36回日本小児歯科学会九州地方会の予算案についても報告された。

4) 尾崎会長および山崎副会長が公益社団法人日本小児歯科学会について報告された。

報告内容

日本小児歯科学会理事会にて小児歯科標榜医の先生のスキルアップを目的に朝田教授を中心とした認証医制度の立ちあげが承認された。地方会役員の旅費を予算に組み込めるか、検討中である。地方会から選出する代議員の条件を検討中であることが報告された。

5) その他

藤原常任幹事が今後開催される国際小児歯科学会の日程について報告した。

4. 議長選出

尾崎会長より森県代表幹事の推薦があり議長に選出された。

5. 審議事項

1) 奥監事が資料4をもとに平成29年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告を行った。

2) 舩元代表幹事が資料5をもとに第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計報告を行った。

3) 久芳代表幹事（前監査）が1）および2）に対

する会計監査の報告をおこない、賛成多数により承認された。

4) 尾崎会長が資料6をもとに平成30年度九州地方会事業計画について報告を行った。この中で、認定歯科衛生士制度推進のためのセミナー開催を2年に1度行う計画があり、学術振興費から予算額に応じた支出が行われることとなった。橋本地方会推薦理事が歯科衛生士活性化委員会の委員長として、また、広報活動の強化のためのHPの活性化と一般社会に向けた広報活動を石谷地方会推薦理事へ、ニュースレターの発行を石井広報幹事へ依頼され、賛成多数により承認された。

5) 田村会計幹事が資料7をもとに平成30年度九州地方会予算案の報告を行った。予算案の承認に関しては、本会から地方会予算に関する共通フォーマットの通知がないため、本会からの通知が届き次第それに従って予算の作製を行い、会員へメール通知することとなった。その後、予算に関して疑義等があればメールにて受けることとなった。資料7については、出席者の多数の挙手をもって承認された。

6) 橋本地方会推薦理事が歯科衛生士活性化のための2年に1回のセミナー開催案について、また石谷地方会推薦理事がIT関係推進委員会の委員長として様々な活動を行うという抱負が述べられ承認された。

7) 牧常任理事が資料8をもとに地方会大会優秀発表賞の選出方法について提案され、優秀発表者の選出方法に関しては承認されたが、賞金については、平成30年度九州地方会予算案に組み込み後日会員にメール連絡することとなった。

8) 石井広報幹事が資料9をもとにニュースレターの発刊についての報告を行い、出席者の多数の挙手をもって承認された。

9) 尾崎会長が公益社団法人日本小児歯科学会本会組織における九州地方会位置づけについて説明された。年度ごとの余剰金または赤字についての取り扱いについて現在の状況に対する説明がなされた。

10) その他

山崎副会長より、地方会会長は就任間もない大学教授が行い地方会とともに成長していくようにしたいとの意見を述べられた。また今後、日本小児歯科学会全国大会と九州地方会の両者の主幹を同年に担当する可能性があるため、その際は皆様にご迷惑をおかけする可能性があることが述べられた。

木船県代表幹事より昨年7月に起きた福岡での歯科治療後の幼児死亡事故に関する日本小児歯科学会の対応に対して意見が述べられた。それに対し、石谷地方会推薦理事より日本小児歯科学会の対応についての説明が述べられた。

6. 監事総評

奥監事より、日本小児歯科学会の公益法人化など大変な時期ではあるが、地方会の各運営を子供たちのために何が出来るかを考えながら、進めていくことが望ましいとの総評を頂いた。

岡監事より、年に2回しか役員会がないため、メー

ル上での決議が有効となるか、また、それに対する規則の検討も考えていく必要があるとの総評を頂いた。

7. 閉会の辞

山崎副会長より閉会の辞が述べられた。

平成30年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成30年10月20日（土）
16：30～18：00

開催場所：福岡県歯科医師会館4階第2会議室

出席者：尾崎 正雄、山崎 一、空田 安博、野中 和明、藤原 卓、牧 憲司、西田 郁子、小笠原貴子、釜崎 陽子、稲田 絵美、馬場 篤子、久芳 陽一、久保山博子、舩元 康浩、高風亜由美、森 奈千子、井上浩一郎、宮川 尚之、竹島 勇、柳田 憲一、奥 猛志、石谷 徳人、岡 暁子、橋本 敏昭、石井 香

欠席者：木船 敏郎、田村 翔悟（敬称略）

進行：馬場庶務幹事が行った。

1. 開会の辞：山崎副会長が開会の辞を述べられた。
2. 会長挨拶：尾崎会長が会長挨拶を述べられた。
3. 議長選出：尾崎会長より竹島沖縄県代表幹事の推薦があり、議長に選出された。
4. 報告事項
 - 1) 尾崎会長が資料1をもとに平成30・31年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員変更について報告された。
 - 2) 尾崎会長が資料2をもとに第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告された。
 - 3) 牧常任幹事が地方会大会優秀発表賞審査状況について報告された。
 - 4) 石井広報幹事が平成30年度ニュースレターの発行について報告された。
 - 5) 牧常任幹事が資料3をもとに第37回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告された。
 - 6) 奥監事が資料4～7をもとに地方会の公益法人化について報告された。
報告内容：来年度から地方会も公益法人化となるのでその対応を行うこと。今年の12月末に本会へ次年度予算・活動計画を提出し、来年1月末に本会へ本年度決算・活動報告提出を行う。会計報告は地方会の収支計算書のフォーマットに沿って作成する。理事長などが各地方会役員会に出向いて説明を行う。
 - 7) 奥監事が資料8をもとに地方会中止に伴う対応について報告された。

報告内容：今年初めて台風により近畿地方会が中止となった。その対応として大会は抄録集内容をもって終了とみなすため、再開は行わない。また、運営に関する赤字分は本会が補填する。学会発表は筆頭発表者のみとし発表の5単位を与える（参加の10単位は与えない）。専門医資格更新ならびに認定歯科衛生士資格取得ケースプレゼンテーションの発表については、他の地方会もしくは来年度の同地方会せへの発表を求め、12月の理事会で正式に決定したものを公表する。

- 8) 奥監事が資料9をもとに学会HPにおける認定医名簿の取り扱いについて報告された。報告内容：2年後に認定医制度が廃止されるので、認定医検索は学会HPの【学会関係者】のページからのみ可能となる。次年度から実施予定の認証医制度と歩調を合わせる。
- 9) 橋本会計幹事より、九州地方会HPの管理費の請求（3/31締め）がメテオから4月に来るが、法人化に伴い次年度からは管理費の締めに12/31に変更したと報告された
- 10) 奥監事が資料10をもとに2019年度、2020年度の地方会日程について報告された。
報告内容：今年度は中部と中四国が同日開催となったが、今後は各地方会で開催日が重複しないように調整する。
- 11) 藤原常任幹事が国際渉外委員会委員長として今後の国際学会の予定について報告された。
報告内容：①IAPD Global Summit of Early Childhood Caries
バンコク（タイ）2018年11月2日 - 4日
②The 60th Scientific Meeting and Annual Congress of Korean Academy of Pediatric Dentistry (KAPD) COEX, ソウル, 韓国
2019年4月27日 - 28日（当日会費無料）
③The 27th IAPD Congress カンクン, メキシコ
2019年7月3日 - 7日
④The 12th PDAA Congress COEX, ソウル, 韓国
2020年6月12日 - 14日
5. 審議事項
 - 1) 尾崎会長が資料11をもとに第36回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について説明され、賛成多数により承認された。
 - 2) 尾崎会長が第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地について、順番でいくと九州

- 大学が担当となるが九州大学の野中教授退官となれるので鹿児島大学にお願いしたい旨を説明され、次回の役員会へ持ち越し審議となった。
- 3) 柳田地方会特別幹事が資料 12 をもとに平成 31 年度歯科衛生士フォーラムの開催について説明され、賛成多数により承認された。
 - 4) 石井広報幹事が資料 13 をもとに第 32 回から 36 回まで地方会抄録集のHPへの追加掲載について説明された。また馬場庶務幹事より、今後地方会の法人化に伴い地方会HPを継続するのかどうか審議依頼があった。奥監事から地方会HPについて他の地方会との足並みをそろえる意味から地方会連絡協議会で検討すると説明があり、地方会抄録集の追加掲載について賛成多数により承認された。
 - 5) 尾崎会長より次回役員会の日程について、地方会の次年度予算・事業計画立案のため 12 月にメール会議を行いたい旨、説明され賛成多数により承認された。何か事業を計画されている先生は早めに事務局へお知らせ願いたい。
 - 6) 牧常任幹事より、40 周年にむけて積み立て予算を設けてはどうかと説明され、積み立て方法などは本会に相談することで賛成多数により承認された。
 - 7) その他、井上宮崎県代表幹事より、平成 31 年 4 月にオープンセミナーを企画している説明がなされ、次年度の事業計画案に組み込むこととした。
 - 8) 奥監事が代議員数について、九州地方会では現状(8名)通りか会員数に基づいて算出する(7名)かについて、更に山崎副会長が代議員選出について詳しく説明され、現状のままで継続希望することで賛成多数により承認された。
 6. 監事総評：奥監事より、次々に教授が退官される世代交代の時期に入るが、若い先生方と九州地方会の活性化を図っていかなければならないと総評を頂いた。岡監事より、地方会の法人化に伴いこれからも様々な内容を十分に審議する必要があると総評を頂いた。
 7. 閉会の辞：空田副会長が閉会の辞を述べられた。

令和元年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 宮崎小児歯科医会オープンセミナーの開催 (4月7日) | 4. 地方会役員会の開催 (11月9日) |
| 2. 地方会役員会の開催 (4月21日) | 5. 九州地方会大会の開催 (11月10日) |
| 3. 歯科衛生士フォーラム2019の開催 (9月22日) | 6. 地方会大会最優秀発表賞の授与 (11月10日) |
| | 7. ニュースレターの発刊 (8月末日) |

九州地区5大学講座一覧

| 大学分野名 | 主任教授名 | 住 所 | 電 話 番 号 F A X 番 号 |
|--|-------|--------------------------|--|
| 九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野 | 福本 敏 | 812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 | 092-642-6400 092-642-6468 |
| 九州歯科大学健康促進科学 機能育成制御学講座 口腔機能発達学分野 | 牧 憲司 | 803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1 | 093-582-1131 093-583-5383 |
| 福岡歯科大学成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野 | 尾崎 正雄 | 814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 | 092-801-0411(代表) 092-801-0692(医局直通) |
| 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻展開医療科学講座 小児歯科学分野 | 藤原 卓 | 852-8588 長崎市坂本1-7-1 | 095-819-7674 095-819-7676 |
| 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科健康科学専攻 発生発達成育学講座 小児歯科学分野 | 山崎 要一 | 890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 | 099-275-6262 099-275-6268 |

九州地区スタディーグループ一覧

| 研究会名 | 代表者 | 事務局 | 事務連絡 | | | 連絡者 | 地域 単位の 研修会 |
|---------------------|------------------|-------------------------|----------|--|-------------------|--|------------------|
| 福岡小児歯科 集談会 | 二木 昌人 | | 810-0022 | 福岡市中央区薬院 4-1-26 薬院大通 センタービル2F | ふたつき 子ども歯科 | fc-dental@san.bbiq.jp TEL 092-523-7560 FAX 092-523-7540 | ○ |
| NPO法人 Well-Being | 中村 謙治 | | 810-0041 | 福岡市中央区大名 1-15-24 Well-Being BLDG2 F | | jimukyoku@well-being.or.jp TEL 092-771-5712 FAX 092-741-8037 | |
| 月曜会 | 中尾 哲之 (世話人代行) | | 813-0013 | 福岡市東区香椎駅前 1-9-8 第2エクセレント桜井2F | なかお 小児歯科 | nakatetsu2003@jcom.home.ne.jp TEL 092-661-2370 FAX 092-661-2380 | |
| 小児口腔医療 研究会 | 橋本 敏昭 | 福岡歯科大学 成育小児歯科学 分野 | 814-0193 | 福岡市早良区田村 2-15-1 福岡歯科大学成育 小児歯科学分野内 | | pedoral@college.fdcnet.ac.jp TEL 092-801-0411 FAX 092-801-0692 | ○ |
| 北九州小児歯科 臨床研究会 | 空田 安博 | | 807-0874 | 北九州市八幡西区大浦 1-5-15 | そらだ 小児歯科 医院 | info@sorada.or.jp TEL 093-602-8369 FAX 093-602-8381 | |
| 佐賀小児歯科 研究会 | 梅津 哲夫 | | 849-0935 | 佐賀県佐賀市八戸溝 3-8-2 | うめづ歯科・ 小児歯科医院 | umedusika@mbn.nifty.com TEL 0959-30-2555 FAX 0959-30-5566 | |
| 長崎小児歯科 臨床医会 | 高風垂由美 | 堀内 礼子 | 854-0001 | 諫早市福田町37-3 | 堀内歯科 | aya_dent@yahoo.co.jp TEL 0957-21-5333 FAX 0957-21-5332 | ○ |
| 熊本小児歯科 懇話会 | 逢坂 亘彦 | 入江 英仁 | 861-3206 | 上益城郡御船町 辺田見366-1 | 入江歯科 医院 | e.irie@mail.sysken.or.jp TEL 096-282-3188 FAX 096-282-3177 | |
| 宮崎小児歯科医会 | 菅 真弓 | | 880-0124 | 宮崎市新名爪 188番地35 | すが歯科 | suga-dc@miyazaki-catv.ne.jp TEL 0985-39-9509 FAX 0985-39-9508 | |
| 宮崎障害者歯科 懇談会 | 安部 喜郎 | | 880-0834 | 宮崎市新別府町 久保田683-1 宮崎歯科福祉センター | | d-senter@mnet.ne.jp TEL 0985-83-3344 FAX 0985-83-3345 | |
| 小児歯科臨床を 語る会 | 奥 猛志 | 長谷川大子 | 890-0082 | 鹿児島市紫原 4-30-15 | はせがわ こども 歯科 | hasegawa@kodomo-dc.jp TEL 099-812-6030 FAX 099-812-6031 | ○ |
| 沖縄小児歯科 研究会 | 竹島 勇 | 加藤真由美 | 903-0806 | 那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカス マンション2F | くばがわ 歯科医院 | milkyway.6480@utopia.ocn.ne.jp TEL 098-887-6480 FAX 098-887-6481 | |

令和元年度小児歯科学会専門医セミナー開催案内

専門医セミナー

- | | |
|--------|--|
| 日 時 | 令和元年8月4日(日) 12:45 ~ 16:00 |
| 会 場 | 大阪歯科大学創立100周年記念館4階大講義室 |
| テ マ | 乳幼児期からの子どもの口腔の機能と形態 |
| 講 師 | 石谷 徳人 先生(イシタニ小児・矯正歯科クリニック) 演題:「責任ある早期治療を实践するために」 近藤 俊 先生(藤田保健大学医学部形成外科小児歯科分野) 演題:「先天性疾患を有する新生児を授かった家族への集学的アプローチ」 |
| | |
| 日 時 | 令和元年9月29日(日) 12:45 ~ 16:00 |
| 会 場 | 徳島大学藤井節郎記念ホール |
| テ マ | 知っておきたい発達障害児の特性とその家族への理解 |
| 講 師 | 森 健治 先生 (徳島大学大学院医歯薬学研究部子どもの保健・看護学分野、子と親のこころ診療室長) 岩本 里織 先生 (徳島大学大学院医歯薬学研究部地域看護学分野) |
| | |
| 日 時 | 令和元年10月13日(日) ※北日本地方会大会終了後(時間未定) |
| 会 場 | 秋田市にぎわい交流館AU |
| テ マ | 症例から学ぶ |
| 講 師 | 田中 聖至 先生 (日本歯科大学新潟生命歯学部小児歯科学講座) 演題:「舌小帯異常の定期管理を通して」 岩瀬 陽子 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野) 演題:「1から学ぶモニタリングと救急対応」 |

専門医・認定医合同セミナー

- | | |
|--------|---|
| 日 時 | 第1回 令和元年9月8日(日) 12:45 ~ 16:00 |
| 会 場 | 朝日大学 |
| 日 時 | 第2回 令和2年1月26日(予定) 12:45 ~ 16:00 |
| 会 場 | 東京歯科大学水道橋校舎新館 |
| テ マ | 口腔機能発達不全症について |
| 講 師 | 木本 茂成 先生(神奈川歯科大学大学院歯学研究科小児歯科学分野) 演題:「口腔機能発達不全症の基本的考え方と歯科的対応」 鈴木 広幸 先生(鈴木歯科小児歯科医院) 演題:「医療技術が保険に導入されるしくみー”口腔機能発達不全症”の場合とその保険算定の仕方・書類作成についてー」 |

日本小児歯科学会九州地方会会則

平成23年10月10日一部改正

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会 長 1名

副 会 長 2名

常任幹事 5名

幹 事 若干名

- ・ 庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。
- ・ 次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。
- ・ 大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。
- ・ 監事 2名（議決権は有さないものとする）

2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。

なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4. 監事は会計および会務を監査する。

第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3. 大学代表幹事は5大学小児歯科学講座の推薦によって決定する。

4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科学主任教授とする。

5. 次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に関し、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。
本会則は平成20年11月23日から改正施行する。
本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、平成30年4月1日より下記に置く。

〒814-0193 福岡市早良区田村 2-15-1

福岡歯科大学 成長発達歯学講座

成育小児歯科学分野内

日本小児歯科学会九州地方会事務局

TEL：092-801-0411（内線 656）

FAX：092-801-0692

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。
2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 監事および副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦

- し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事（5名）と県代表幹事、福岡（2名）、長崎（1名）、熊本（1名）、大分（1名）、佐賀（1名）、宮崎（1名）、鹿児島（1名）、沖縄（1名）の計14名とする。
 6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。
 7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。
 8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
 9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
 10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
 11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

令和元年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員名簿

| 役職 | 氏名 | 所属 | 役職 | 氏名 | 所属 |
|--------------|-------|----------|---------|-------|----------|
| 会長 | 尾崎 正雄 | (福岡歯科大学) | 県代表幹事 | 高風亜由美 | (長崎) |
| 副会長,常任幹事 | 山崎 要一 | (鹿児島大学) | 県代表幹事 | 森 奈千子 | (熊本) |
| 副会長,地方会特別幹事 | 空田 安博 | (福岡) | 県代表幹事 | 木船 敏郎 | (大分) |
| 常任幹事 | 福本 敏 | (九州大学) | 県代表幹事 | 井上浩一郎 | (宮崎) |
| 常任幹事 | 藤原 卓 | (長崎大学) | 県代表幹事 | 宮川 尚之 | (鹿児島) |
| 常任幹事 | 牧 憲司 | (九州歯科大学) | 県代表幹事 | 竹島 勇 | (沖縄) |
| 大学代表幹事 | 西田 郁子 | (九州歯科大学) | 地方会特別幹事 | 柳田 憲一 | (福岡) |
| 大学代表幹事 | 小笠原貴子 | (九州大学) | 地方会特別幹事 | 奥 猛志 | (鹿児島) |
| 大学代表幹事 | 釜崎 陽子 | (長崎大学) | 地方会特別幹事 | 石谷 徳人 | (鹿児島) |
| 大学代表幹事 | 稲田 絵美 | (鹿児島大学) | 監事 | 奥 猛志 | (鹿児島) |
| 大学代表幹事(庶務幹事) | 馬場 篤子 | (福岡歯科大学) | 監事 | 岡 暁子 | (福岡歯科大学) |
| 県代表幹事 | 久芳 陽一 | (福岡) | 会計幹事 | 橋本 敏昭 | (福岡) |
| 県代表幹事 | 久保山博子 | (福岡) | 会計補佐 | 田村 翔悟 | (福岡歯科大学) |
| 県代表幹事 | 舩元 康浩 | (佐賀) | 広報幹事 | 石井 香 | (福岡) |

編集後記

夏休み真っ盛り、小児歯科にとっては季節労働者といわれるくらい忙しい季節です。毎年、35度超えの猛暑日も当たり前ようになってきました。テレビでは、来年のオリンピックに向けて準備が着々と進んでいる様子が伝えられています。しかし、私たちはその前の2020年春に沖縄で初めて開催される日本小児歯科学会の全国大会が控えています。小児歯科専門医が少ない沖縄の子どもたちの口腔の健康について少しでも考える場を持てたらと願っております。九州地方会の皆さまの一人でも多くの参加をお願い申し上げます。

石井 香